

I eラーニング研修事業の概要

1. 名称 DH-KEN (ディーエイチケン)
2. 企画、運営、共同開発 日本歯科衛生士会、デンタルダイヤモンド社、関係団体
3. 受講対象者 歯科衛生士(会員・非会員)

II eラーニングの受講方法

1. 自己学習型研修

- ① PC、スマートフォン、タブレット等を使用し、QRコードにてログインする

dhken.jp



- ・ 日本歯科衛生士会会員は、会員番号とパスワードを入力することで、修了後、自動的に第5次生涯研修制度の研修単位が付与される
 - ・ 日本歯科衛生士会会員は、本会 HP から DH-KEN サイトへ入ることも可能
 - ・ 受講プラン(単コンテンツまたは定額制)を選択する
 - ・ 単コンテンツ受講の場合は購入後、3か月以内に視聴する(有効期限3か月)
- ② 受講料を支払う
 - ③ eラーニングを受講した証として、研修項目ごとに確認テスト(小テスト)を実施する
 - ④ テストの合格をもって修了となり、単位が取得できる
 - ・ 会員は、DH-KEN パスポート(eラーニングの研修履歴)と本会の生涯研修制度の単位が取得できる
 - ・ 非会員は、DH-KEN パスポートのみ取得できる
 - ・ DH-KEN パスポートの研修履歴取得のため、都道府県歯科衛生士会における集合型研修(eラーニング)で受講した研修項目を別途、自己学習として受講することができる(受講料は必要。但し、研修内容が重複するため、生涯研修制度の単位は取得できない)
 - ・ 会員が新コンテンツを受講した場合、本会の生涯研修制度の単位は次年度に反映される
 - ⑤ DH-KEN の内容に関連したワークシートによる演習を行い、ワークシートを本会へ提出することで、生涯研修単位を取得(追加)できる
2. 都道府県歯科衛生士会における集合型研修(eラーニング)
 - ・ 本会生涯研修制度実施要綱細則に基づき、都道府県歯科衛生士会が研修会を開催する
 - ・ 上記の集合型研修(eラーニング)を受講した場合、生涯研修制度の単位を取得できるが、自己学習による DH-KEN パスポートの研修履歴には反映されない(重複して単位は取得できない)

Ⅲ 研修項目と日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度における取得単位

研修コース	研修項目	コンテンツ名	単位数	別表
歯周治療	歯周治療の基本技術	I 歯周治療の基礎	3	4-1
		II 検査と評価	3	
		III 口腔衛生指導と生活習慣指導	3	
		IV スケーリング・ルートプレーニング	2	
		V 歯周治療の補助に必要な知識と技術	2	
		VISPT・メンテナンスに必要な知識と技術	1	
		VII 超高齢社会に求められる歯周病予防と治療	1	
保存修復	保存修復治療	保存修復治療 機器・材料の変遷	1	4-2
補綴	補綴歯科治療	補綴歯科治療 機器・材料の変遷	2	4-3
口腔機能	口腔機能低下症	口腔機能低下症	3	4-4
	周術期等口腔機能管理	これでわかる！周術期等口腔機能管理	1	4-5
医療安全	医療安全管理	I 医療安全管理	1	4-6
		II 歯科衛生士のための COVID-19 正しい知識と対応	1※	
※ I および II 修了による取得単位				
業務記録	歯科衛生士業務記録	歯科衛生士に必要な業務記録の書き方	1	4-7
医療面接	医療面接	I 医療面接	3	4-8
		II 医療面接2	2	
		III 医療面接3	2	
検査	臨床検査	社会に例えるなるほど検査	1	4-9
口腔粘膜	口腔粘膜の診かた	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	1	4-10
在宅歯科医療	在宅歯科医療	はじめての在宅歯科医療	2	4-11
災害	災害歯科保健	災害歯科保健	3	4-12

IV 自己学習型研修による日本歯科衛生士会会員受講料、集合型研修による動画使用料

1. 会員受講料および集合型研修による動画使用料

研修項目	コンテンツ名	会員受講料 (税込)	動画使用料 (税込)
歯周治療の基本技術	I 歯周治療の基礎	1,782 円	33,000 円
	II 検査と評価	1,485 円	33,000 円
	III 口腔衛生指導と生活習慣指導	1,485 円	33,000 円
	IV スケーリング・ルートプレーニング	1,782 円	22,000 円
	V 歯周治療の補助に必要な知識と技術	1,188 円	22,000 円
	VISPT・メンテナンスに必要な知識と技術	891 円	11,000 円
	VII 超高齢社会に求められる歯周病予防と治療	594 円	11,000 円
保存修復治療	保存修復治療 機器・材料の変遷	743 円	11,000 円
補綴歯科治療	補綴歯科治療 機器・材料の変遷	1,040 円	22,000 円
口腔機能低下症	口腔機能低下症	1,782 円	33,000 円
周術期等口腔機能管理	これでわかる！周術期等口腔機能管理	594 円	11,000 円
医療安全管理	I 医療安全管理	891 円	11,000 円
	II 歯科衛生士のための COVID-19 正しい知識と対応	594 円	11,000 円
歯科衛生士業務記録	歯科衛生士に必要な業務記録の書き方	594 円	11,000 円
医療面接	I 医療面接	1,782 円	33,000 円
	II 医療面接2	1,485 円	22,000 円
	III 医療面接3	1,188 円	22,000 円
臨床検査	社会に例えるなるほど検査	891 円	11,000 円
口腔粘膜の診かた	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	594 円	11,000 円
在宅歯科医療	はじめての在宅歯科医療	1,188 円	22,000 円
災害歯科保健	災害歯科保健	1,782 円	33,000 円

2. 定額制受講プラン会員受講料

プランの種類	会員受講料(税込)
月額パターン	1,100 円/月間
半年額パターン	5,300 円/6ヶ月間

歯周治療の基本技術 (A-a 歯周治療の基本技術)

コンテンツ名	内 容	所要 時間	研修時間と 取得単位	講師(敬称略)
I 歯周治療の基礎	歯周治療の基本技術	37分	【3時間10分】 3単位	和泉 雄一
	健康な歯周組織 -構造と機能-	31分		
	歯周病の病態と症状 -臨床的な原因と症状-	36分		
	口腔と全身との関わり -全身疾患のリスクファクターとしての歯周病-	92分		
II 検査と評価	医療面接	12分	【2時間30分】 3単位	古市 保志
	口腔内/歯周組織の検査	115分		
	エックス線写真の読影、CTの見方	14分		
	歯周治療の基本的な流れと進め方	17分		
III 口腔衛生指導と生活習慣指導	セルフケアとは	17分	【2時間30分】 3単位	沼部 幸博 野村 正子
	物理的・科学的プラークコントロール	76分		
	行動変容に必要な知識と技術	14分		
	禁煙支援と食生活の改善指導	34分		
	口腔内悪習癖:ブラキシズムなどへの対応	20分		
IV スケーリング・ルートプレーニング(SRP)	手用スケーラーのインスツルメンテーション	38分	【2時間40分】 2単位	新田 浩 茂木 美保
	グレーシーキュレットのシャープニング	38分		
	超音波スケーラーによるインスツルメンテーション	42分		
	PMTc	44分		
V 歯周治療の補助に必要な知識と技術	歯周基本治療、歯周病と咬合性外傷、病的歯牙移動、抗菌療法等	48分	【1時間45分】 2単位	二階堂雅彦
	歯周外科治療	39分		
	歯周組織再生療法、症例	20分		
VI SPT・メインテナンスに必要な知識と技術	SPT・メインテナンスへの移行について	31分	【1時間30分】 1単位	浦野 智
	SPT・メインテナンスの実際	23分		
	知覚過敏・根面カリエスの予防	14分		
	症例検討	23分		
VII 高齢社会と歯周病	超高齢社会に求められる歯周病予防と治療	41分	【40分】 1単位	和泉 雄一

保存修復治療 (B-j 歯科治療の基礎知識)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
保存修復治療 —機器・材料の変遷—	保存修復治療(カリオロジー)の考え方と変化	14分	【1時間16分】 1単位	田上 順次
	保存修復治療の種類&接着ステップ	13分		
	前歯3級修復のステップ	15分		
	臼歯2級修復のステップ	18分		
	メンテナンス&近年の保存修復	16分		

補綴歯科治療 (B-j 歯科治療の基礎知識)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
補綴歯科治療 —機器・材料の変遷—	クラウン製作の流れ	43分	【1時間53分】 2単位	高橋 英和
	ブリッジ製作の流れ	3分		
	新しいクラウン・ブリッジ材料	5分		
	全部床義歯製作の流れ	29分		鈴木 哲也
	部分床義歯製作の流れ	14分		
	有床義歯のケアと患者指導	17分		

口腔機能低下症 (B-g 口腔機能低下症)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
口腔機能低下症	総論	45分	【2時間50分】 3単位	櫻井 薫
	口腔機能低下症の検査・診断	52分		水口 俊介
	口腔機能低下症の診断と管理	60分		上田 貴之
	まとめ	10分		古屋 純一

周術期等口腔機能管理 (C-b 周術期等の口腔機能管理)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
これでわかる！周術期等口腔機能管理	あなたの歯科医院にがん患者さんが来たら	8分	【58分】 1単位	杉 政和 武藤 智美
	周術期等口腔機能管理とは／目的は何か	5分		
	なぜ必要なのか	13分		
	医科歯科連携のパターン／患者の来院パターン	10分		
	歯科医院では何をすれば良いのか？	12分		
	歯科衛生士として注意すべき点／がん治療と患者さんのQOLを支えるために	4分		
	歯科衛生士連絡書(周術期)の紹介	6分		

医療安全管理 (C-a 歯科診療所等における医療安全管理対策)

コンテンツ名	内 容	所要 時間	研修時間と 取得単位	講師(敬称略)
I 医療安全管理	企画主旨	1分	【1時間20分】 1単位	小林隆太郎
	医療安全の考え方	21分		内川 喜盛
	医療安全管理に対する法律制度	7分		
	院内感染対策	49分		
II 歯科衛生士のための COVID-19正しい 知識と対応	新型コロナウイルス感染症についての基礎知識	38分	【38分】 I および II 修了で 2単位	小林隆太郎
	診療に関する留意点			
	診療環境に関する留意点・スタッフに関する留意点など			

歯科衛生士業務記録 (B-k 業務記録)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
歯科衛生士に必要な業務記録の書き方	業務記録を学ぶ前の予備知識	12分	【57分】 1単位	鳥山 佳則
	診療報酬と歯科衛生士業務の実践	30分		
	よくある質問と対応について	15分		

医療面接 (B-f 医療面接)

コンテンツ名	内 容	所要 時間	研修時間と 取得単位	講師(敬称略)
I 医療面接	なぜ歯科外来に医療面接が必要なのか	74分	【3時間20分】 3単位	西田 亙
	マスクを外せば世界は変わる	49分		
	眼差しを合わせると心は開く	27分		
	ユニットで教授回診を体験しよう	21分		
	ここにきてくれるだけで言葉は届く	29分		
II 医療面接2	自己紹介を通して覚悟が宿る	43分	【2時間37分】 2単位	西田 亙
	送り返しが共感を生み出す	42分		
	魔法の言葉で理由を探る	71分		
III 医療面接3	歯科衛生士は生涯に寄り添う仕事	40分	【2時間17分】 2単位	西田 亙
	前向きな外来を実現するために	57分		
	あなたに会えてよかった	39分		

臨床検査 (B-m 臨床検査)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
社会に例えるなるほど検査	プロローグ	6分	【1時間35分】 1単位	井上 孝
	血球検査の基礎知識	15分		
	宅配便のトラック[貧血]	11分		
	割れたガラスの修復[止血機構]	20分		
	やられたらやり返す[炎症]	19分		
	対岸の火事[糖尿病と歯周病]	8分		
	エピローグ	16分		

口腔粘膜の診かた (B-1 口腔粘膜の知識)

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	はじめに	8分	【1時間5分】 1単位	山根 源之
	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識1	5分		
	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識2	7分		
	口腔粘膜の診かたと異常所見の見つけ方1	7分		
	口腔粘膜の診かたと異常所見の見つけ方2	7分		
	特に見逃せないのが口腔がん	4分		
	全身的疾患、全身状態と関係する口腔の変化	9分		
	よくある質問・まとめ	13分		

在宅歯科医療（C-c 在宅歯科医療の基礎）

コンテンツ名	内容	所要時間	研修時間と取得単位	講師(敬称略)
はじめての在宅歯科医療	在宅歯科医療の背景	49分	【2時間10分】 2単位	細野 純
	歯科訪問診療業務の留意点	46分		山口 朱見
	歯科訪問診療における歯科衛生士の役割	34分		

災害歯科保健 (B-h 災害支援活動)

コンテンツ名	内 容	所要 時間	研修時間と 取得単位	講師(敬称略)
災害歯科保健	災害と支援の枠組み	23分	【3時間2分】 3単位	奥田 博子
	災害時の地域保健	24分		中久木康一
	災害時の被災者の心理	22分		久保山裕子
	災害時の歯科の役割と変遷	15分		
	災害時の歯科衛生士の活動の実際	16分		
	災害時の歯科口腔アセスメントの体系化	13分		
	災害時の歯科口腔アセスメントの実際	16分		
	災害歯科保健活動における多職種との連携	23分		
	被災者の心情に配慮した歯科保健活動	16分		
	災害歯科保健活動における「食べる」支援	14分		